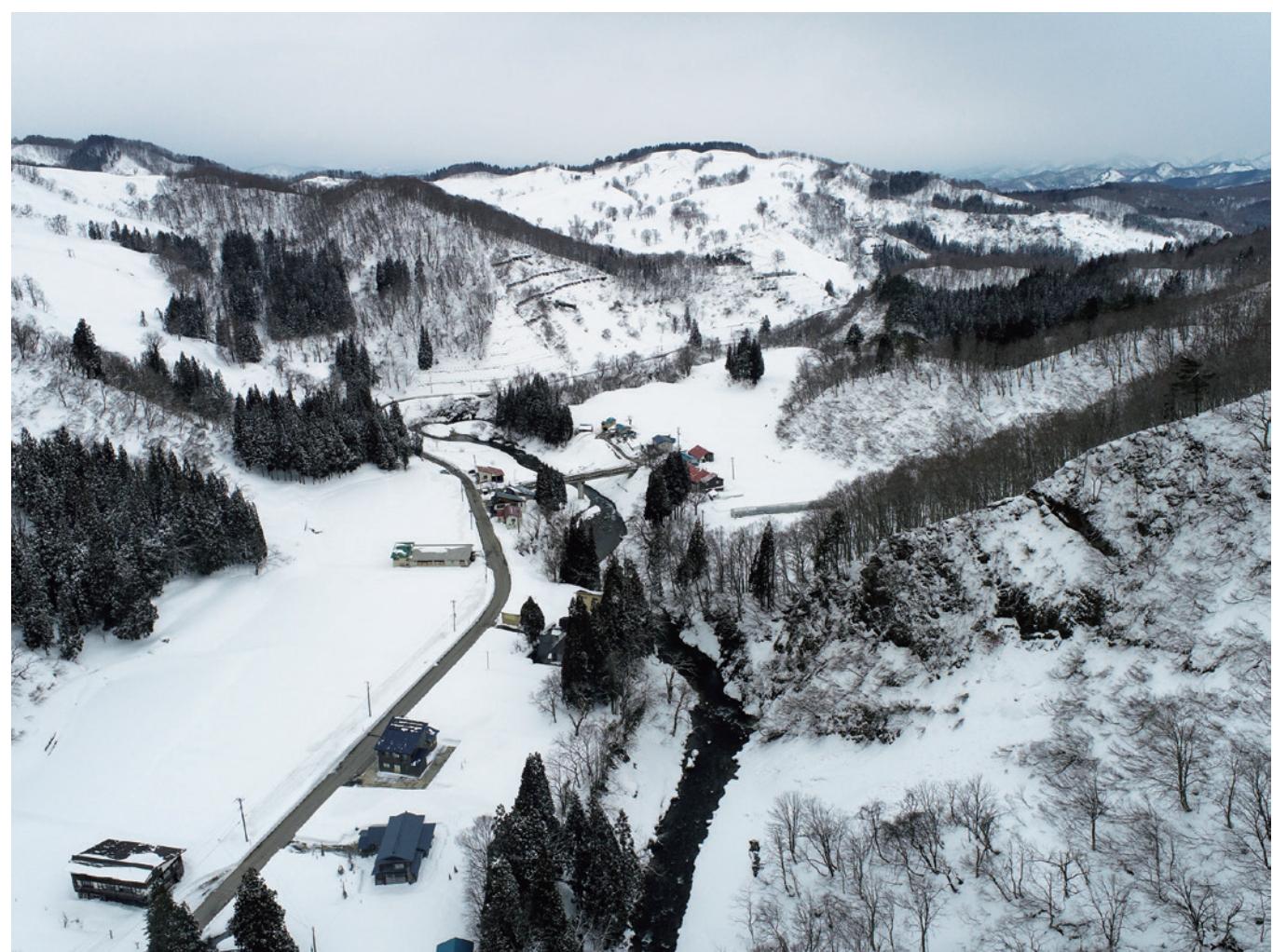


ドローンがみた、 おぐにの風景

No. 63



⑥3 「馬」が見守る河原角地区

河原角地区には、悪霊や煩惱を取り除き、馬の頭部を頭上に置いた馬の守護神である馬頭観音が祀られています。『小国町の信仰』（小国町誌編集委員会編 1995年）によると、かつて、当地区は飯豊山への登山ルートのひとつとなっており、通路の安全を祈る觀世菩薩像が祀られていたが、周の大規模道路改修工事に伴い失われ、平成元年に馬頭観音が建てられたといわれています。

馬頭観音が建てられた平成元年の翌年である平成2年は午年でした。今年はその年から36年が経ち、干支でいえば3度巡ったことになります。厳しい冬においても安全に地区外への行き来ができるようになった今も、「馬」が地区住民を見守り続けています。